

今年から合同になって

「せきもと成人講座」に

昨年まで「せきもと女性セミナー」と「せきもといきいきカレッジ」として生涯学習講座として実施してきましたが、今年度から、一本化して「せきもと成人講座」として活動を開始しました。

☆開級式と

☆出前講座で認知症について学習☆

せきもと成人講座となった今年度は36人の申し込みがあり、5月21日、地区交流館大研修室で開級式と、最初の学習として出前講座「認知症って何？予防のコツは？」を行いました。開級式では澁谷会長の主催者あいさつ後、生涯学習指導員の高見良典さんからあいさつをいただきました。次にメンバーの自己紹介、年間学習計画を確認しました。今年度も菅野忠司部長と菅野幸子事務局員が担当します。



学習では、認知症予防として
①料理・旅行・園芸・ゲームなど
②身体を動かして効果的なのは
早歩き。③栄養と睡眠が大事。こ
ういう集まりの参加も大変効果
があることを学びました。
講師の伊達市包括支援センター
の和知さんの楽しい体験談を聞
き、一年間活動が続けること
が大切と実感しました

☆6月の開催は

園芸教室

「寄せ植え講座」☆

小雨降る6月18日、交流館玄関・ロビーを利用して、園芸教室「寄せ植え講座」を開催しました。



学習の10分前には、集落支援員の山田さんが推進する「伊達市歌」にあわせてのスクラッチ体操を体験しました。

園芸教室の講師は、フラワーショップ「みつひろ」にお願いしました。

各自、直径30センチの鉢にケイトウ、トシニア、日野草、カリブラコア、ジニア、ペントスの6種類の花を、苗の背丈が伸びる物、横に広がる物、下に垂れる物などを考慮し、思い思いにバランスを考えながら植えました。



☆7月は「楽しくニチレクボール」

7月23日、3回目の講座は、「楽しくニチレクスポーツ」を行いました。講師は、伊達市レクリエーションクラブ



事務局長の中木雅彦さん。始めに、準備運動として、グーとパーの手をリズムよく交換して、前に出したり胸に当てたりの動作がなかなかできない難しさで盛り上がりました。和やかな雰囲気になったあと、2チームに分かれての「ニチレクボール」です。

ゲームの前に赤と青に分かれてボールの投げ方を練習。すぐに試合開始！説明を受けながらですが、ポッチャとルールが似ています。

最初に黄色ボールを自分たちのチームに有利なように投げおきます。それに赤、青それぞれのチームカラーボールをいかに近づけるか、最後に得点エリア内のボールの数でポイントがつかます。思うように行かない難しさと楽しさも、しっかり味わいました。会員16人の参加プラス孫1人。「楽しかった！」「面白かった！」と男性陣の笑顔が印象的でした。

交流館からのお知らせ

交流館事務室内のコピー機が交換になりました。

コピー料金は、

モノクロ 1枚

カラー 4円

1枚

20円

今までと同じ料金となります。

編集後記

今年も暑い夏になっています。立秋過ぎても9月までは暑いと：しっかりと夏バテ、熱中症防止策を取って夏を乗り切っていきたいですね！一つひとつの心がけが、健康寿命を伸ばすことにつながります。表紙を飾っていたのは、今年6月22日に100歳になられた中ノ内町内会の菅野マツノさんです。息子さん夫妻はじめ、子どもさん、孫さんたちとお元気に百歳賀寿を祝いました。



ん100歳おめでとう
人と地域を育む愛宕の里 せきもと
令和6年夏号 (No.21)

日 (於 : 飯坂温泉槽上亭大鳥
里づくりせきもと

発行：せきもとさとづくり推進協議会

せきもとさとづくり推進協議会第9回総会開催

5月25日、堰本地区交流館大研修室でせきもとさとづくり推進協議会第9回総会を開催しました。4年ぶりの対面での開催で、会場には来賓、代議員の方々、執行部の40人が出席しました。澁谷会長のあいさつ後、来賓代表し堰本小学校長の瀬川満美子様からあいさつをいただきました。総会議長には、急遽、堰本地区社会福祉協議会長の橋内武さんをお願いし、スムーズな議事進行をしていただきました。

提案議事は下記のとおりで、全ての議案が承認されました。

承認第1号 令和5年度事業報告、承認第2号 令和5年度決算報告
議案第1号 規約改正、議案第2号 令和6年度事業計画
議案第3号 令和6年度予算、議案第4号 役員改選

最後に2件の意見、質問が出され、消火栓の管鎗、開閉器が全部入っていない状況については、関係団体からの回答があり、またクリーンアップ作戦は各町内会判断かの質問には、協議会での判断でなく町内会判断に委ねると回答しました。

**地域みんなの力で
自治・福祉・教育・文化・
産業等の振興と
コミュニティの醸成を図
ろう！** (協議会規約の一文から)



あいさつする澁谷会長



来賓の瀬川堰本小学校長様



総会議長 橋内武さん

地域のよりどころ



堰本小学校長
瀬川満美子さん

「堰本はいいところだよ。がんばって！」と多くの方から励ましの言葉をいただきながら、この四月に校長として着任いたしました。歴史と伝統のある堰本小学校に勤務できますこと、大変嬉しく思っております。

おかげさまで、とても充実した一学期を終え、夏休みを迎えることができました。

この間、澁谷会長様をはじめ、堰本地区の皆様には、様々な面において御支援、御協力をいただきありがとうございます。深く感謝申し上げます。また、堰本地区の皆様には、本校のPTA賛助会員としても御協力いただきありがとうございます。多くの皆様からのご支援を届けていただいておりますことに、重ねて御礼申し上げます。

堰本小学校は、昨年度、百五十年という節目を迎え、新たな歴史を刻み始めているところです。

今年度は八名の新生を迎え、全校児童は六十八名です。「全教職員が、全児童の担任」という意識をもって、日々の教育活動に当たっております。

縦割り班活動といって一年生から六年生までの子どもたちで班をつくって、ふれあい活動や、清掃活動を行っています。子どもたちは、休み時間なども学年の枠を超えて、ドッチボールやサッカー、ぶらんこなどで自然と一緒に遊んでおり、とても仲の良い様子が見られます。「学校は子どもたちにとっての小さい社会」と言われますが、この子どもたちの姿に現れているのではないかと思っております。

澁谷会長様から、「学校は地域のよりどころです。」というお話をいただきました。本校としましては、様々な教育活動において新たな試みに挑戦する中で、「地域とともにある学校」を目指して、堰本地区のみならず、まとのつながりをさらに深めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

せきもとさとづくり推進協議会組織体制

令和6年度のせきもとさとづくり推進協議会の組織体制です。皆様のご協力よりしくお願いします。

(敬称 略)

三役・事務局

★事業：地域拠点の地区交流館維持管理・運営に関する事業
会長 澁谷基昌
副会長 菅野吉・佐藤英吉・菅野忠司
事務局長 小賀坂光義
事務局次長 今村みさ子
事務局員 菅野幸子・三浦裕子・小賀坂ロク

地域振興部会

部会長 佐藤英吉 副会長

★具体的事業：グラウンドゴルフ大会、里づくり標語(堰小児童)看板作成、愛宕または笠石周辺整備、花いっぱい運動(6月、9月)、せきもと太鼓クラブの創設 ※堰本文化祭は隔年で、今年は開催しません
★メンバー：渡辺秀一、渡邊健治、小賀坂義一、佐藤光作、橋 孝幸、佐藤正美、佐藤友治、鈴木義英、佐藤賢一

地域安全部会

部会長 菅野吉 副会長

★具体的事業：伊達市チャレンジデー参加、防災訓練(9月)、敬老会(社協と共催)、古紙等回収(PTA計画外)、せきもと交流サロン、女性防火クラブ
★メンバー：八島勝男、橋内正幸、渡辺秀則、小賀坂清、佐藤チヨ子、原田秋子、斎藤裕一、佐々木賢一、小賀坂ロク、大橋重男

生涯学習部会

部会長 菅野忠司 副会長

せきもと成人講座 担当 菅野忠司副会長、菅野幸子(事務局員)
★具体的事業：せきもと成人講座(10回予定)、健康料理教室(男女とも)(3回予定)、写真教室(2回予定)

広報委員会

★具体的事業：
広報紙「里づくり せきもと」の発行事業(年4回)
★メンバー：事務局長、事務局員

里づくり女性委員会

★事業：花いっぱい運動協力、古紙、アルミ缶等回収、防災訓練炊出等、各部会への協力 ※梁川踊り流し参加(今年中止)
★メンバー：委員長 末永実智代
副委員長 山崎陽子
寺島千恵子、秋葉京子、大竹久子、渡辺ユウ子、渋谷昭子、小賀坂恵美子、遠藤春子、佐藤和子、原田吉美、霜山由美、高橋美由喜、津田明子、渡辺文子

里づくり女性委員会

令和6年度第1回会議開催

5月26日、第1回会議を交流館大研修室で開催し、女性委員、本部役員計18人が出席しました。今年度組織体制、事業計画について説明、協議しました。

委員長、副委員長を互選し、事業については原案どおりとし、全員協力で行うことを確認しました。



●「敬老会」を予定
昨年、堰本地区社会福祉協議会と共催し、4年ぶりに堰本地区敬老会を開催しました。今年も内容等は検討中ですが、9月15日(日)開催を予定しています。詳しくは後日お知らせいたします。

●花いっぱい運動 花苗植栽を実施

6月2日、堰本小学校西側道路際、大関の県道旧入り口、新田ふれあいセンターなどの花壇にマリーゴールド、サルビアの花苗を植え付けました。地域振興部会を中心に、里づくり女性委員会役員も参加し、地区内3箇所それぞれ作業しました。事前と事後の作業も部会で担当してやっています。花苗は、県道を中心に道路沿いの美化活動として、県土木事務所からいただいで、毎年実施しています。花々は道ゆく人たちの心も明るくしてくれるでしょう。

